

授業科目 耳鼻咽喉科学

【担当教員名】 中野 雄 一		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標 : G10】 五感のうち聴覚・嗅覚・味覚などの感覚に加え、平衡覚さらには発声発語・呼吸機能にも深く関与する耳鼻咽喉科領域は文化的生活に密着した科目である。耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、気管、食道に分けて、それぞれの構造と機能、検査、疾患について概説する。					
【学習目標】 講義内容を整理し、理解して、説明できるようにまとめる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	聴覚系の構造と機能、難聴の検査と疾患、年齢と難聴				講義
2	平衡系の構造と機能、めまいの検査と疾患				講義
3	耳の構造と顔面神経の走行、主な顔面神経麻痺				講義
4	鼻の構造と機能、感冒と鼻症状				講義
5	主な鼻副鼻腔疾患				講義
6	口腔・咽頭の構造と機能、口腔の障害症状				講義
7	急性扁桃炎とその症状、口腔・咽頭疾患				講義
8	喉頭の構造と機能				講義
9	喉頭の検査、喉頭の障害症状				講義
10	嚔声をきたす喉頭疾患、上気道狭窄に伴う呼吸困難				講義
11	気管・食道の構造と機能				講義
12	気管・食道の検査				講義
13	主な気管・食道疾患・				講義
14	嚔下障害と主な原因疾患				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格他>
教科書 (必ず購入する書籍)		言語聴覚士のための講義ノート 新耳鼻咽喉科学入門 改訂新版	中野雄一	考古堂書店	2008・2,800円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席・学習状況 (40%)と定期試験 (60%)から評価する			【履修上の留意点】 学習ノートは学問体系を知る上で重要。作成には工夫が必要。		